

東北公益文科大学大学院
プレFDの取り組み

東北公益文科大学大学院

公益学研究科

2023年4月

1. 東北公益文科大学大学院のプレFDの考え方

東北公益文科大学大学院公益学研究科は、「公益の視点から新たな学術的知見を開拓・先導する研究者および高度専門職業人の育成」を目指し、博士後期課程を開設している。令和5年度現在の「三つの方針」は下記のとおりである。

ディプロマ・ポリシー（学位授与方針）

必要な単位数を修得し、別に定める審査基準による博士論文審査に合格した人材に学位を授与します

＜人材育成像＞公益の視点から新たな学術的知見を開拓・先導する研究者

カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）

- ・公益の視点から研究テーマに関する高度な専門知識を身につけるため、「公益学研究」を配置します
- ・主研究指導教員1名及び副研究指導教員2名から成る研究指導グループの指導により、博士論文を作成します

アドミッション・ポリシー（入学者受け入れ方針）

- ・国際的な視野を持ち、日本及び地域社会における様々な課題の解決策を提示し、公益の実現に向け体系化を図りたいと考えている人材
- ・博士後期課程での研究に必要な高度な専門知識と基盤的実績及び論理的思考力を持つ人材

以上の方針に従い、特に博士学位取得後に自らが有する学識を教授する見込みが高い博士後期課程の学生を対象に、そのために必要な能力を培うための機会として「プレFD」を位置づけている。（法制度上は、大学院設置基準第四十二条の二「学識を教授するために必要な能力を培うための機会等」に基づいて実施するものである。）

2. プレFDとは

「学校教育法施行規則及び大学院設置基準の一部を改正する省令の施行について（通知）」（元文科高第380号・令和元年9月26日）では「各大学院における、博士後期課程の学生を対象とした、学識を教授するために必要な能力を培うための機会（いわゆる「プレFD」。）として記述している。『平成27年度 文部科学省委託調査 大学教員の教育活動・教育能力の評価の在り方に関する調査研究 調査報告書』（株式会社リベルタコンサルティング、2016年3月）で次のように定義されている。以下に各大学の捉え方をいくつか紹介しておく。

○京都大学高等教育研究開発推進センター「京都大学のプレFD」

<http://www.highedu.kyoto-u.ac.jp/prefd/>

プレFDとは、これから大学教員（ファカルティ）になろうとする大学院生やOD（オーバードクター）・ポストクのための職能開発の活動のことです。大学教員の仕事には、教育、研究、管理・運営、社会貢献などがありますが、プレFDでは、なかでも教育能力の開発に重きが置かれています。「プレFD」というのは和製英語で、アメリカでは、Preparing Future Faculty（PFF）と呼ばれています。日本では、2008年の中央教育審議会答申「学士課程教育の構築に向けて」において「教育研究上の目的に応じて、大学院における大学教員養成機能（プレFD）の強化を図る」とされたことも手伝って、この数年、プレFDを実施する大学が増えてきました。 <http://www.highedu.kyoto-u.ac.jp/prefd/about/>

○東京大学大学総合教育研究センター「東京大学フューチャーファカルティプログラム（大学院生向けプレFD）」 <http://www.he.u-tokyo.ac.jp/activities/fd>

大学教員を目指す大学院生を対象に、特に「大学で教えること」に関するスキルおよび知識の獲得を目指したプログラムを2013年度より開講しています。大学院共通授業科目「大学教育開発論」を中心にした半期プログラムにおいて、アクティブラーニング型の学習スタイルを通じて専門領域を超えたネットワーキングを育みながら大学院生が学ぶ環境を提供しています。

<http://www.he.u-tokyo.ac.jp/activities/fd>

文部科学省の言う「プレFD」は和製英語であり、アメリカでは、Preparing Future Faculty（PFF）と呼ばれるものであることがわかる。表現からしても英語の方がその意味を理解しやすい。これまでの定義や解説とみるとおおよそ次のようになる。

「これから大学教員となろうとする大学院生（ポストク含む）の職能開発の活動。特に、教育能力の開発のこと。」

大学院生は研究者の一面もあるが、博士後期課程の大学院生は将来の大学教育を担う人材であることを踏まえて行われるのが教育能力開発を目的とするプレFDなのである。

3 プレFDの内容

「プレFD」はこれから大学教員となろうとする大学院生の教育能力の開発であるが、具体的にはどのような内容であろうか。「学校教育法施行規則及び大学院設置基準の一部を改正する省令の施行について（通知）」（元文科高第380号・令和元年9月26日）では次のような例を挙げている。

「プレFDとしては、例えば、主体的な学びを促すための学生指導法や教材の作成・活用方法等に関するセミナーや授業の開催、また、教育能力向上のため大学として設計し指導を行う等適切に関与したティーチング・アシスタント（TA）制度等による実践的な教育経験の機会の提供等が想定されること。なお、各大学院において策定した「三つの方針」を踏まえた上で、プレFDを授業として単位認定を伴うかたちで開講することは妨げないこと。」

これを整理するとプレFDには3つの型があることがわかる。

大学院授業開講型

大学院授業開講型は大学の授業として開講され、単位化されていることが多い。その講義の中で学生指導法、教材の作成・活用方法等など。

課外プログラム型

授業には組み込まれない特別なプログラムにより実際される。学生指導法、教材の作成・活用方法等を扱う特別講義の開講や学部授業での研究授業（事前指導・授業見学・事後指導）・研修会などで構成される。期間も2日～5日程度で集中的に行っている事例もある。事前指導のち、授業見学、そのあとにワークショップなどを実施している事例もある。

TF（ティーチング・フェロー）制度型

一般的には大学の授業を担当し奨学金を得ている大学院生、TA（ティーチング・アシスタント）などの教育経験を主として実施されるもの。助手的な内容を行うため、大学教員の実態を最も知ることのできる制度である。

以上のことを踏まえ、東北公益文科大学大学院公益学研究科では、以下のプレFDを実施している。

1. 「課外プログラム型」のプレFD

博士後期課程の大学院生に対し、大学院事務室及び研究指導教員より、他大学大学院や学外資源が提供する研修機会の案内、その他の情報提供を行っている。本学大学院の規模が小さいこともあり、他大学大学院の博士後期課程の大学院生とともに学び合うことができる機会は、より効果的に自らの学識を教授するために必要な能力を培うために有効な方法となることが考えられる。研究指導教員による細やかな相談・支援体制により、当該大学院生に適した研修機会とのマッチングを進める。

2. 「ティーチング・フェロー型」のプレFD

研究指導教員は学部の授業も担当していることから、大学院生の研究分野などに配慮しながら、学部の授業での見学、授業で使用する教材の作成などに関与し、授業の一部でゲストスピーカーとして授業への参加なども行うことができる。

3. 博士後期課程キャリア科目「キャリア・ディベロプメント」の開講（令和4年度入学者より）

博士後期課程の大学院生は、カリキュラムに配置をしている2単位科目「キャリア・ディベロプメント」を受講し、1の「課外プログラム型」のプレFD、2の「ティーチング・フェロー型」のプレFDの内容と連動しながら、学生指導法、教材の作成・活用方法、教授者として必要な事項について学修する。また、学部等の授業との調整を行い、授業見学等の機会も設ける。

なお、本学ではすでに教育関係の職業を持ちながら入学する博士後期課程の大学院生も在籍していることから、それぞれの状況に対応しながら進められるように柔軟な姿勢で取り組む。教育経験を積む機会としては高等学校等の学校における講演や授業、さらには地域での教育活動への参加、これに加えて大学での教育現場への参加などが考えられる。

4 プレFDの情報提供

大学院設置基準の改正（2019年8月30日）により「学識を教授するために必要な能力を培うための機会の設定又は当該機会に関する情報提供の努力義務化」に伴い、研究機関等でのプレFDの情報を提供する。インターネット等でも検索できるが、推奨するものをまとめたので、機会があれば利用及び参加してもらいたい。

京都大学のプレFD <http://www.highedu.kyoto-u.ac.jp/prefd/about/>

1 大学院生のための教育実践講座

Basic コース [大学院在籍者／初参加者向け]

<http://www.highedu.kyoto-u.ac.jp/prefd/study/program/basic.html>

Advanced コース [OD・ポスドク／本講座参加経験者・大学授業経験者向け]

<http://www.highedu.kyoto-u.ac.jp/prefd/study/program/advanced.html>

2 文学研究科プレFD プロジェクト

1・2年生向けに開講される「哲学基礎文化学系ゼミナール」「基礎現代文化学系ゼミナール」「行動・環境文化学系ゼミナール」

<http://www.highedu.kyoto-u.ac.jp/prefd/literature/>

田口真奈・出口康夫・京都大学高等教育研究開発推進センター編『未来の大学教員を育てる-京大文学部プレFDの挑戦-』（勁草書房、2013年）

3 研究科横断型プログラム「大学で教えるということ」

<http://www.highedu.kyoto-u.ac.jp/prefd/crossing/>

4 コンソーシアム京都との連携による文学部単位互換リレー講義

<http://www.highedu.kyoto-u.ac.jp/prefd/literature/consortium/>

東京大学大学総合教育研究センター

東京大学フューチャーファカルティプログラム（大学院生向けプレFD）

<http://www.he.u-tokyo.ac.jp/activities/fd>

東北福祉大学

PD（FD&SD）プレFD・新任教員FD

https://www.tfu.ac.jp/fd/material/pd_prefd.html

東北大学高度教養教育・学生支援機構「大学教育支援センター」

Professional Development Program

<http://www.ihe.tohoku.ac.jp/CPD/>

東北大学高度教養教育・学生支援機構 大学教授法開発論／大学教員準備プログラム

<https://www.ihe.tohoku.ac.jp/CPD/pffp/>

専門性開発プログラム(Professional Development Program)の動画配信

<http://www.ihe.tohoku.ac.jp/CPD/PDPonline/>

その他、プレFDに関する論文を国立情報学研究所 <https://www.nii.ac.jp/> のサイトから検索できます

- ・今野文子「大学院生等を対象とした大学教員養成プログラム(プレFD)の動向と東北大学における取組東北大学 高度教養教育・学生支援機構
- ・小柳和喜雄「米国におけるProfessional Development School の取組動向 ―教員養成の高度化に向けた実質化の取組に関する調査研究―」（『奈良教育大学紀要』第63 巻第1号（人文・社会2014 年）
など。

(その他参考)

- ・U d e m y（ユーデミー）の活用

<https://www.udemy.com/ja/>

U d e m y（ユーデミー）とは米国発のオンライン動画学習(研修学習)のプラットフォーム。
(世界中の教えたい人と教わりたい人をつなぐサービス)

- ・学会への参加

各学会でも、大学院生のための教育プログラムを提供しているところがあります。研究指導教員の指示を仰ぎながら、学会活動を始めましょう。なお、学会への入会・所属にあたっては、研究指導教員から必ず意見を聞くようにしてください。